

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公表番号】特表 2003-524752 (P2003-524752A)

【公表日】平成 15 年 8 月 19 日 (2003.8.19)

【出願番号】特願 2000-539331 (P2000-539331)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 1/00

G 0 1 N 1/28

G 0 1 N 27/62

G 0 1 N 30/64

G 0 1 N 30/68

G 0 1 N 30/70

G 0 1 N 30/72

G 0 1 N 30/74

G 0 1 N 30/80

// G 0 1 N 21/31

【F I】

G 0 1 N 1/00 1 0 1 G

G 0 1 N 1/00 1 0 1 K

G 0 1 N 27/62 F

G 0 1 N 30/64 F

G 0 1 N 30/64 Z

G 0 1 N 30/68 Z

G 0 1 N 30/70

G 0 1 N 30/72 C

G 0 1 N 30/74 E

G 0 1 N 30/80 E

G 0 1 N 30/80 H

G 0 1 N 1/28 V

G 0 1 N 21/31 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 4 月 16 日 (2003.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( i ) 分析対象の試料を供給するための供給手段と、  
 ( i i ) 前記分析対象の試料の少なくとも 1 種の特性を分析するための分析手段と、  
 ( i i i ) 前記供給手段と前記分析手段の間に前記試料を運送するための運送手段とを備えた分析装置であって、  
 前記運送手段が前記試料を受け取る酸化表面層を持つチタンを有する分析装置。

【請求項 2】

前記酸化表面層が多孔質である請求項 1 に記載の分析装置。

【請求項 3】

前記運送手段がベルト材、テープ材、ワイヤー材及びディスク材から選ばれる請求項 1 又は 2 に記載の分析装置。

【請求項 4】

前記試料が中を通して供給される供給チューブの出口を備え、その供給チューブは前記運送手段に隣接する請求項 1 ないし 3のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 5】

供給手段からの余剰の試料を受け取るため、前記運送手段に隣接するコーンを有する請求項 1 ないし 4のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 6】

前記コーンが酸化表面皮膜を有する請求項 5に記載の分析装置。

【請求項 7】

前記試料が噴霧器によって前記運送手段の表面に塗布される前記請求項 1 ないし 3のいずれかの 1 項に記載の分析装置。

【請求項 8】

前記分析手段が熱分解手段を有する請求項 1 ないし 7のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 9】

前記分析手段が、1 種以上の電子捕獲検出器、リン若しくは硫黄選択検出器、原子吸光分光計及び / 又は質量分析計を有する請求項 1 ないし 8のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 10】

アルゴンイオン化検出器を有する請求項 1 ないし 9のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 11】

アルゴンイオン化検出器と気体状態で接続する電荷中性化手段と接続する熱分解手段を有する請求項 9に記載の分析装置。

【請求項 12】

前記電荷中性化手段が電子捕獲検出器を有する請求項 11に記載の分析装置。

【請求項 13】

1 種以上の磁石手段によって密封箇所に維持される複数の磁化可能な粒子を有する開口部の密封部を有する請求項 1 ないし 12のいずれか 1 項に記載の分析装置。

【請求項 14】

前記磁化可能な粒子が、鉄、又は鉄被覆ラテックス粒子である請求項 13に記載の分析装置。

【請求項 15】

( i ) 分析対象の試料を提供するステップと、

( i i ) 酸化表面層を持つチタンを有する運送手段上に前記試料を置くステップと、

( i i i ) 前記運送手段、及び前記運送手段上の試料を分析手段に移動するステップと、

( i v ) 前記試料の少なくとも 1 種の特性を分析するステップとを有する分析方法。

【請求項 16】

前記運送手段に隣接した供給チューブを通して前記試料を供給するステップを含む請求項 15に記載の方法。

【請求項 17】

前記運送手段からのあらゆる余剰の試料を、前記運送手段に隣接したコーンによって受け取ることが出来るステップを含む請求項 15 又は 16に記載の方法。

【請求項 18】

前記試料を噴霧器によって前記運送手段へ供給するステップを含む請求項 15に記載の方法。

【請求項 19】

前記試料を前記分析手段で熱分解するステップを含む請求項 15 ないし 18のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 20】

1 種以上の電子捕獲検出器、リン若しくは硫黄選択検出器、原子吸光分光計、アルゴンイ

オン化検出器及び／又は質量分析計を使用するステップを含む請求項 1 5 ないし 1 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 2 1】

1 種以上の磁石手段によって密封箇所維持される複数の磁化可能な粒子によって運送装置への開口部を密封するステップを含む請求項 1 5 ないし 2 0 のいずれか 1 項に記載の方法。